

2024年度JIH、AMTAC・MTF受入実績報告

一般社団法人Medical Excellence JAPAN

Japan International Hospitals(JIH) 実績報告(P4,P6~8)

対 象: JIH推奨病院43病院

内 容: 渡航受診者受入実績

期 間: 2024年4月~2025年3月まで

回答数: 39病院

AMTAC・MTF 実績報告(P5)

対 象: AMTAC企業6社、MTF会員90社(AMTAC企業除く)

内 容: 渡航受診者支援実績

期 間: 2024年4月~2025年3月まで

回答数: 54社

Japan International Hospitals(JIH) 43病院(認証順)



東京大学医学部附属病院
国立がん研究センター 中央病院
大阪大学医学部附属病院
国立がん研究センター 東病院
国立国際医療研究センター病院
千葉大学医学部附属病院
慶應義塾大学病院
藤田医科大学病院
聖路加国際病院

聖路加国際病院
相澤病院
虎の門病院
米盛病院
国際医療福祉大学三田病院
福岡県済生会福岡総合病院
福岡記念病院
筑波大学附属病院
国立成育医療研究センター病院

順天堂大学医学部附属順天堂医院
総合南東北病院
NTT東日本関東病院
榊原記念病院
日本医科大学千葉北総病院
東京都済生会中央病院
山形大学医学部附属病院
津山中央病院
福山医療センター

岡山旭東病院
古賀病院21
新古賀病院
埼玉医科大学国際医療センター
済生会横浜市東部病院
中部国際医療センター
金沢医科大学病院
吹田徳洲会病院
吉田病院

旭川医科大学病院
名古屋共立病院
日本生命病院
大阪国際がんセンター
広島大学病院
神戸大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター

AMTAC正認証 4社(認証順)



(株)JTB/JMHC
(ジャパンメディカル&ヘルスツーリズムセンター)
日本エマージェンシーアシスタンス(株)
ブリジアン(株)
(株)アイセルネットワークス

AMTAC準認証 2社(認証順)



(株)セントルシアヘルスケアジャパン
医信(株)

エルシーインターナショナル(株)
(株)シーエルエー・テクノロジー
健康説(株)
マイケアライト(株)
(株)HY International
(株)GLANZ
(一社)日中医療観光協会
国際医橋(株)
(株)DYOHA

(株)One Thing
G-KF商事(株)
中和産業(株)
IMCS(株)
多睦健康(株)
アイホープジャパンインターナショナル
ソリューションズ(株)
(株)ペインタフューチャー

MTF 正会員 90社(入会順)



C-1(身元保証機関)

JTB JMHC
(株)セントルシアヘルスケアジャパン
(株)精準国際医療
(株)メディポリス
医通国際医療(株)
医療法人社団医進会小田クリニック
医信(株)
XKメディカル(株)
日々向上国際株式会社
RIGHT(株)
(株)キュアローズ株式会社
グローバルカンパニー(株)
(株)ジャパンアクセス
(株)大可国際医療グループ

53 GROUP(株)
シーセブンマーケティング株式会社
(株)三華
(株)東京健康国際
(株)ワツプ
(株)イース・トランサービス
(株)アジア・コミュニケーションズ
エース健康管理(株)
(株)コノミティ
トーキイ(株)
(株)対がん戦略研究所
(株)センドワールド
(株)アイセルネットワークス
日本国際医療コンサルティング(株)
東旭国際健康医療(株)
信川医療観光(株)

日本医療観光(株)
Doctor Care(株)
朝陽健康国際(株)
醫健泰(株)
(株)日本国際医療センター
Medicare Japan(株)
JMTS(株)
ブリジアン(株)
(株)漢唐国際
馨蘭(シンラン)国際医療株式会社
国際医療(株)
国際医療健康推進センター(株)
メディ・アライアンス合同会社
JCM(株)
和正堂(株)
(株)南海国際旅行
(株)メリーライフ・コーポレーション

C-2(身元保証機関以外)

メディネットインターナショナル(株)
Medi Hub(株)
(株)スーパーナース
(株)AYAホールディングス
メディサーブ(株)
Stellaria(株)
(株)Orchester
(株)ワンメディカ
優医会(株)
Medical F2F(株)
(株)光華
(株)シーユーシー
精言(株)

日中商品検査(株)
(株)メックジャパン
(株)先端医療ジャパン
(株)メディリズム
おはようトラベル(株)
ジャパンライフサポート合同会社
(株)心英
(株)佰昆国際ヘルスケアジャパン
(株)ワールドリンク
(株)yolidoli
富士星(株)
(株)メディヴァ
NexaHealth Solutions(株)

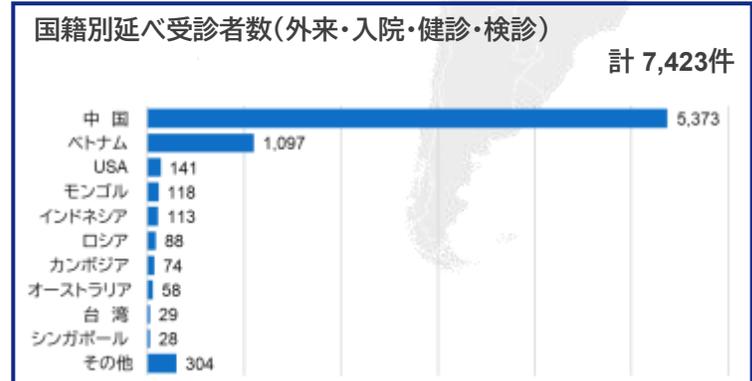
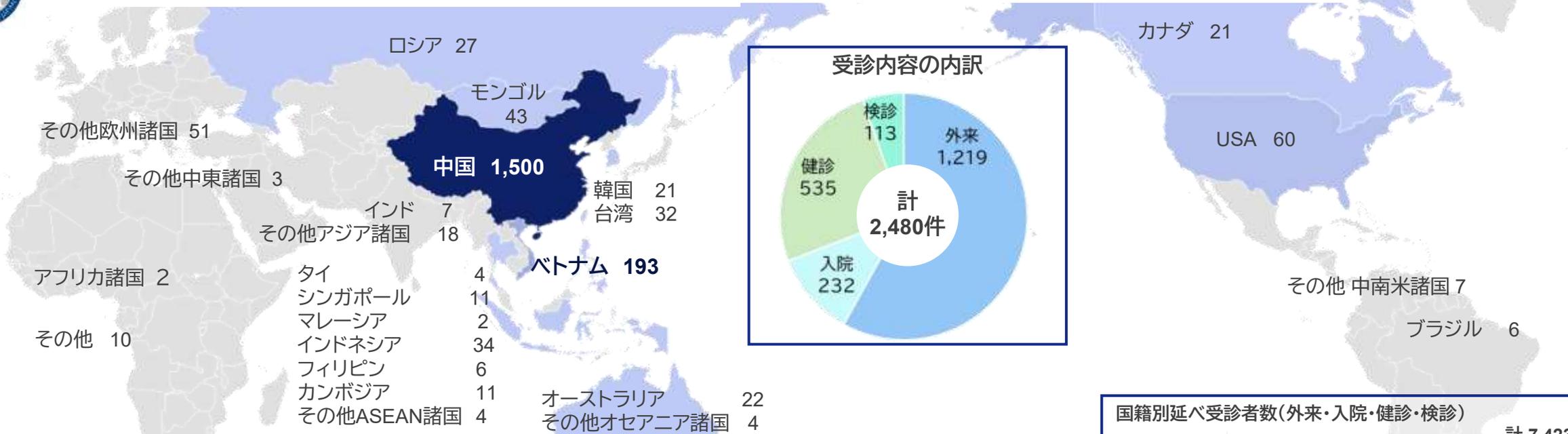
国籍別渡航受診者の受入実績(JIH)

- ・昨年度(2023年度2,262人:回答数39病院)の実績から増加には至らなかった。
- ・国籍別では中国が7割を超え、昨年度よりは割合が増えている。第2位のベトナムは1割を切り、コロナ禍の伸びは落ち着いている。USAの実績が昨年に続き、増えている。
- ・受診内容の内訳では、外来・入院での治療での受診が7割を超える。健診の伸び悩みが全体の受診数にも影響している。



JIH 新規受入渡航受診者数 合計 2,099人

2024年4月～2025年3月:39病院回答

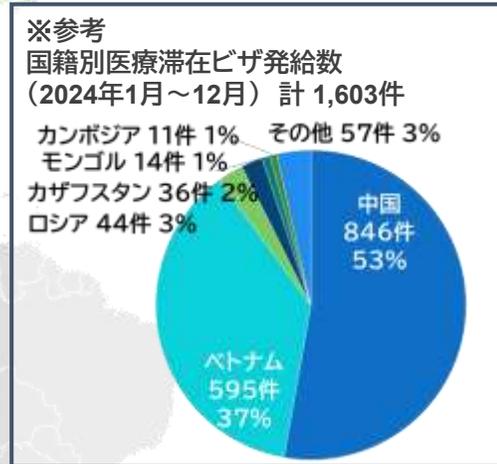
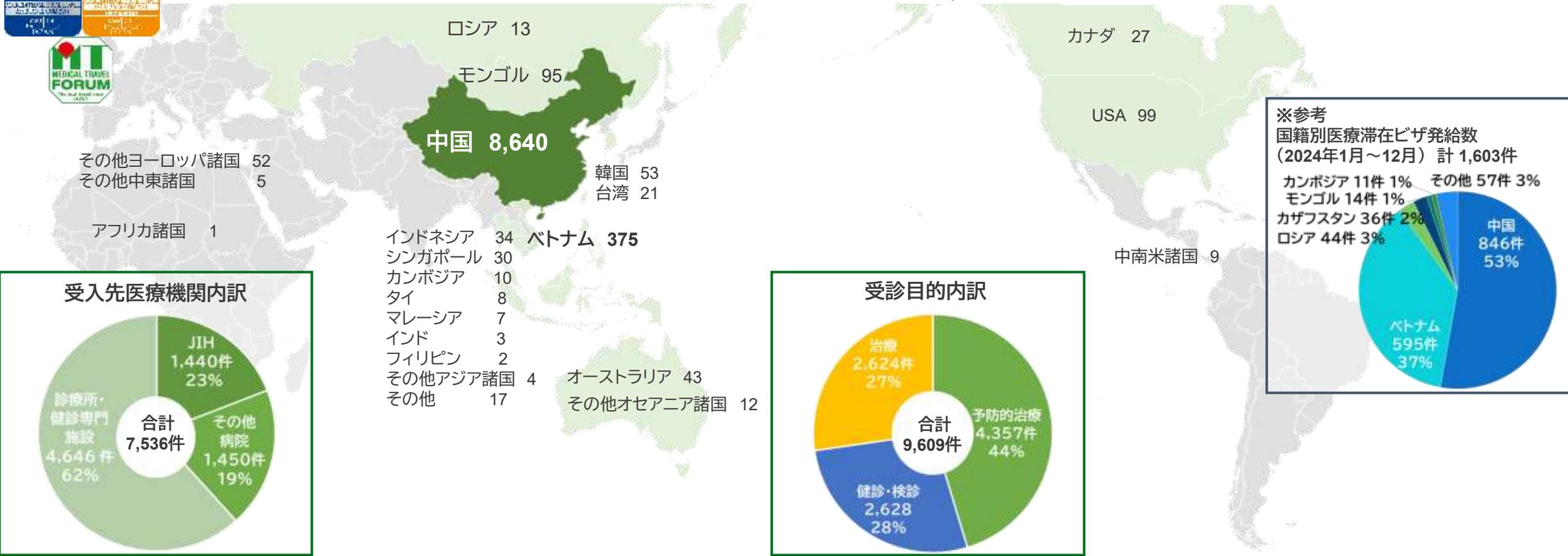


国別渡航受診者の紹介実績(AMTAC*1およびMTF*2)

- ・2024年度AMTACおよびMTFが受入支援を行った渡航受診者数は、9,552人。(2022年度は5,288人回答51社)
- ・中国からの受入が9割となり、次ぐベトナム含め、中国以外は昨年度実績と大きく変わりはない。中国を専門とするMTFが増えたことが要因と考えられる。
- ・受入医療機関のJIHの割合は2割程度で、ほとんどがJIH以外での受入れとなる。
- ・受診目的では、がんなどの疾患に対する治療は3割未満となっている。



AMTACおよびMTF 受入支援 渡航受診者数 合計:9,552人 2024年4月～2025年3月:計54社回答



*1:認証医療渡航支援企業 *2医療渡航フォーラム

診療科別と目的別の渡航受診者受入実績(JIH)

- ・診療科別では、消化器内科・外科、整形外科の上位3診療科では差は少なく、以降に続く循環器内科が続く。これまでベスト3位に入っていた放射線科が少し減ってはいるが、診療科の大きな変動はない。
- ・目的別でも「検査」が最多の傾向は続き、全体の6割近くになる。治療では、放射線治療の件数が減り、抗がん剤治療が増えている。

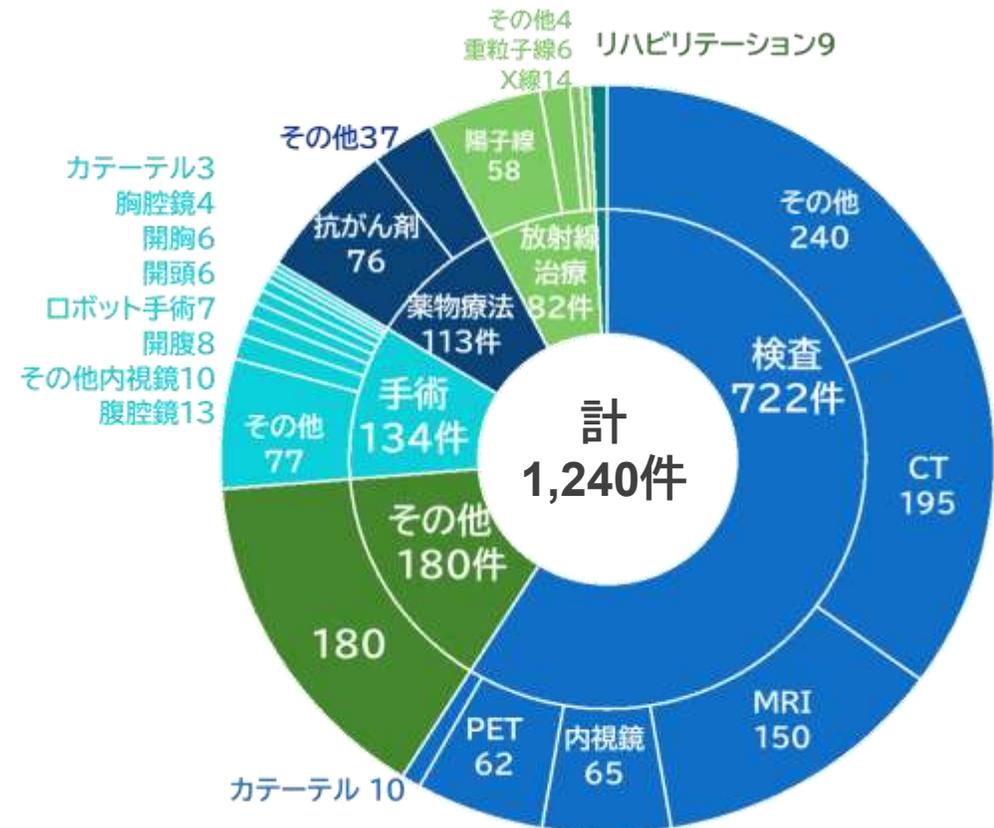
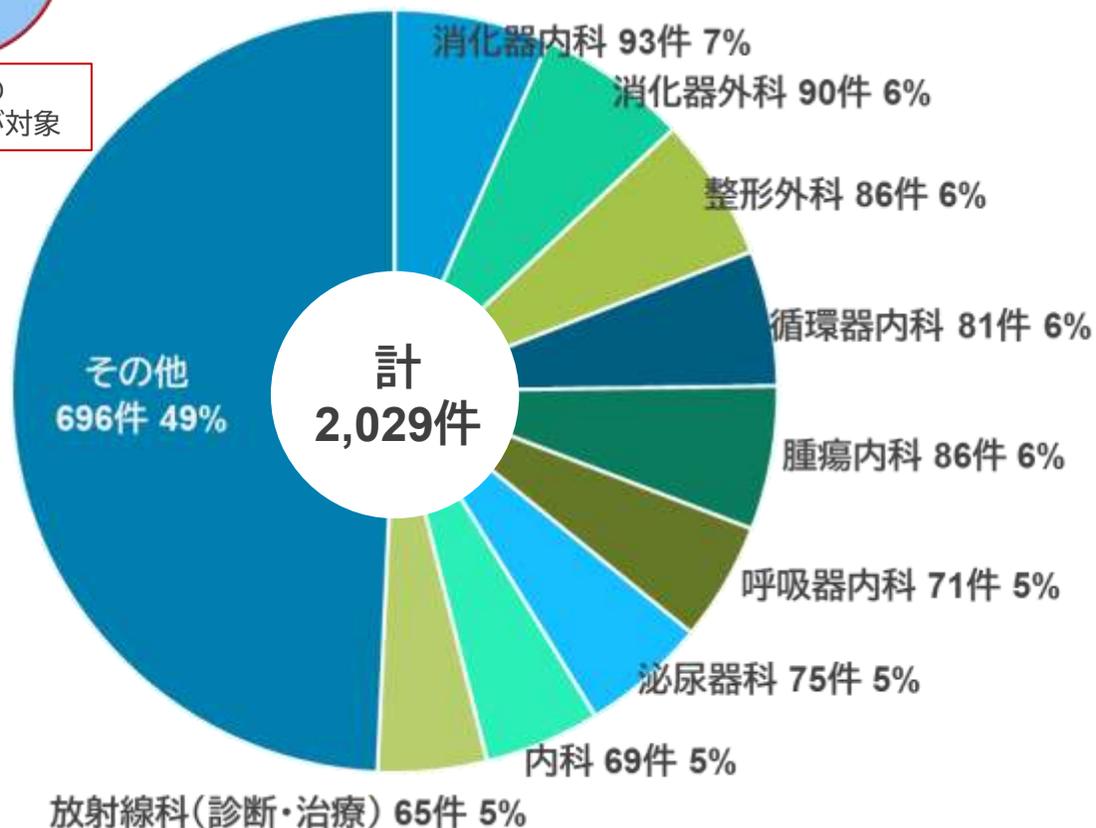
2024年4月～2025年3月:39病院回答

診療科別実績

目的別



外来・入院の計1,451件が対象

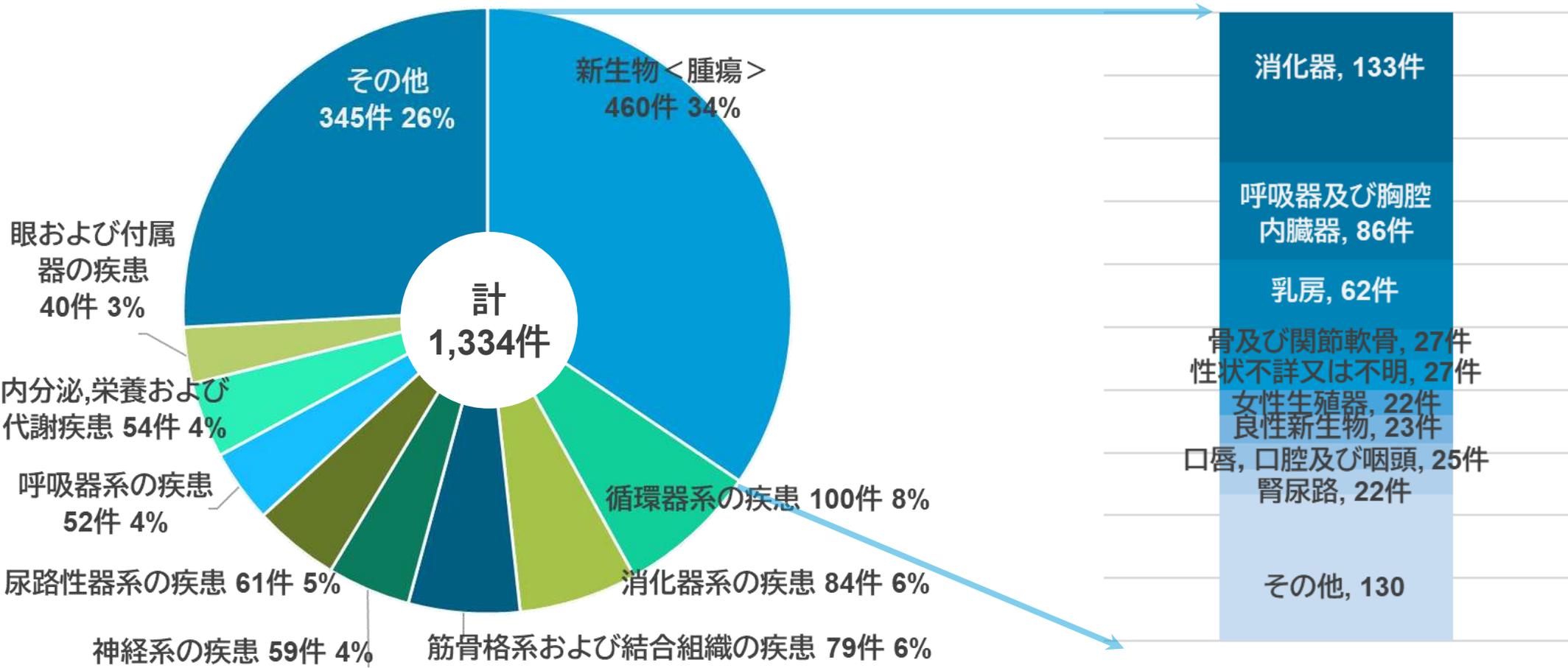


・診療科別・目的別ともに、外来・入院で受診した渡航受診者を対象とし主たる診療科と目的で回答を得た。一部重複回答や無回答があり、合計が合わない。

疾患別渡航受診者受入実績(JIH)

- ・統計開始以来、変わらず新生物が第1位となっている。
- ・昨年度と同様に新生物の割合は3割程度で、疾患が多岐に分布している。
- ・新生物の部位別でみると、上位から消化器、呼吸器及び胸腔内臓器、乳房と続き、これまでと大きな変異はない。

2024年4月～2025年3月:39病院回答



・全ての疾患ICD分類別の回答がない病院もあり、対象となる渡航受診者数よりも少ない。

アプローチ経由別 問合せ・受入実績(JIH)

・問合せ・受入のアプローチ経由別にみると、訪日治療が大半であり、母数も多い。AMTAC・MTF以外の企業からの依頼が最多。
 ・訪日治療のアプローチ総数4,373件に対し、実際に受入れた治療実績(P4)は、1,451件と、3割程度となる。昨年と変わらない割合であり、依頼から実績につながるよう受入れ可能な疾患・内容を渡航支援企業と共有することが重要である。

2024年4月～2025年3月:39病院回答

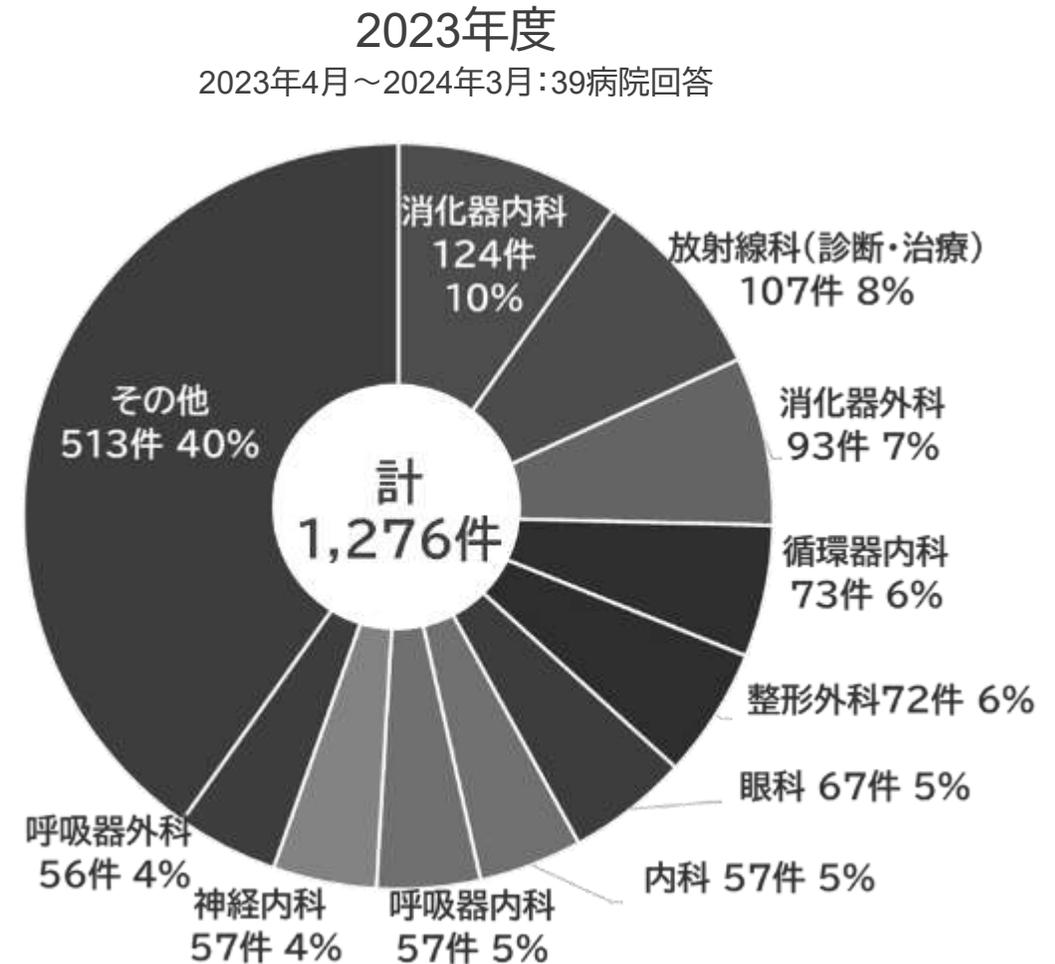
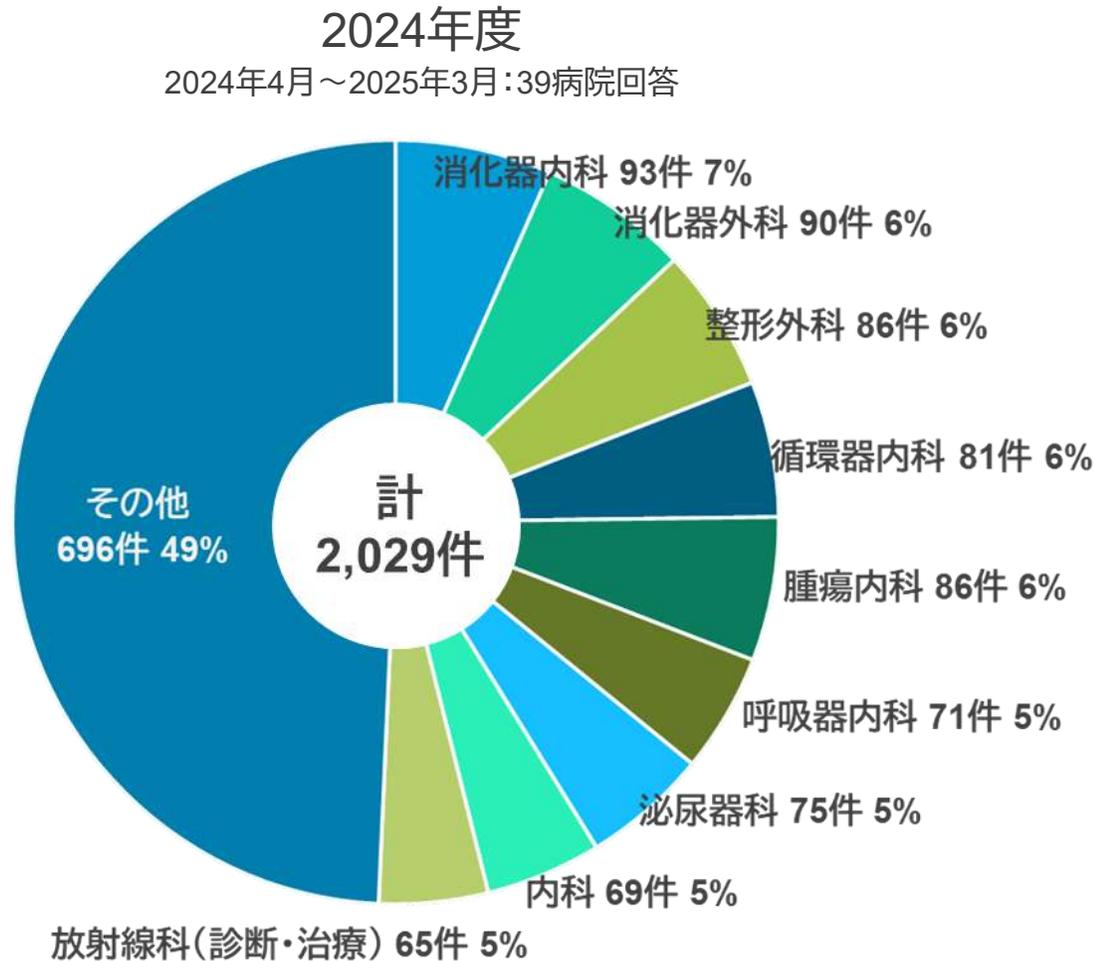


・全てのアプローチ経由別の回答がない病院もある。

以降、参考資料 2023年度比較

診療科別渡航受診者受入実績 2024年度2023年度比較

・診療科別では、消化器内科・外科、整形外科が上位となった。23年度と比較すると放射線科の数が減っている一方で、特定の診療科が突出することなく、満遍なく受入れされている。



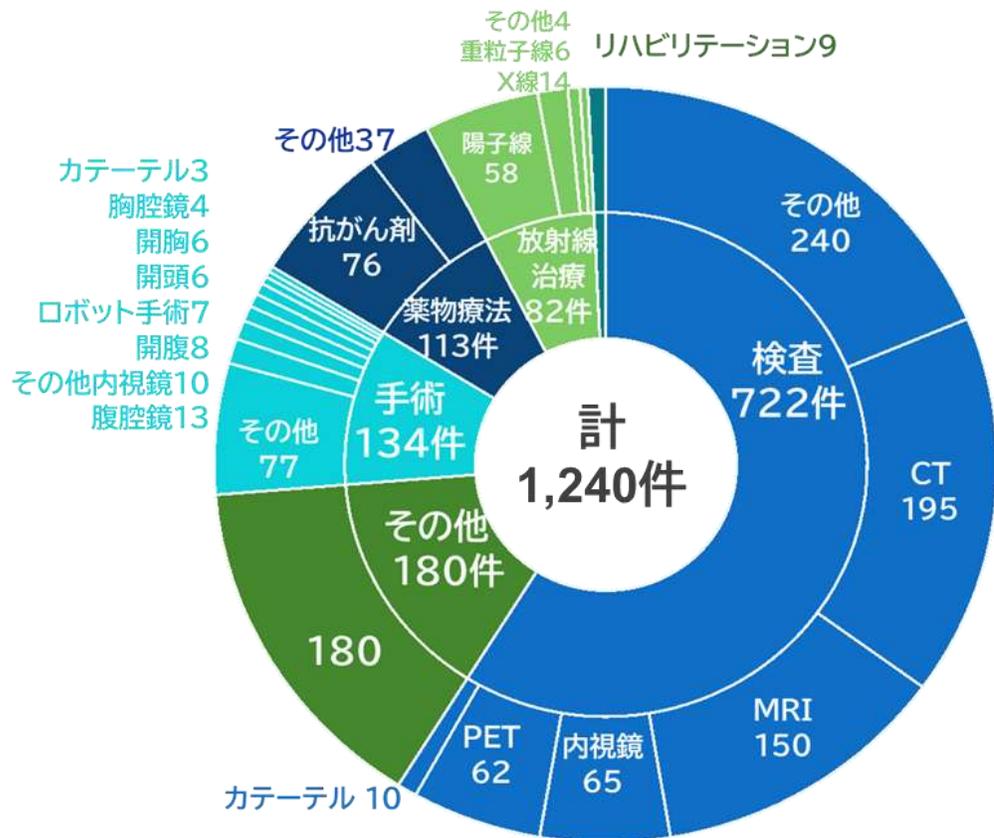
・診療科別の実績において、渡航受診者が複数の診療科に受診した場合や回答のない病院もあり、渡航診者数と異なる。

目的別渡航受診者受入実績 2024年度2023年度比較

- ・目的別では、「検査」が一番多い点は21年度から変わりがないが割合は増えている。
- ・治療では放射線治療少し減り、薬物療法の抗がん剤治療が微増している。

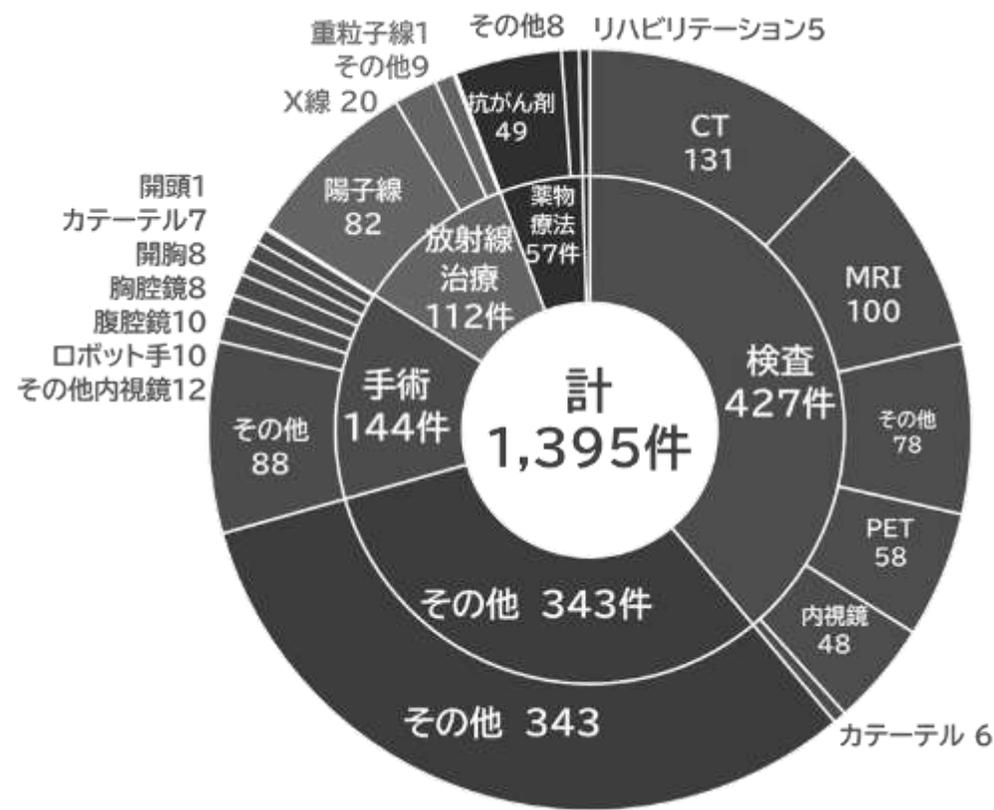
2024年度

2024年4月～2025年3月:39病院回答



2023年度

2023年4月～2024年3月:39病院回答



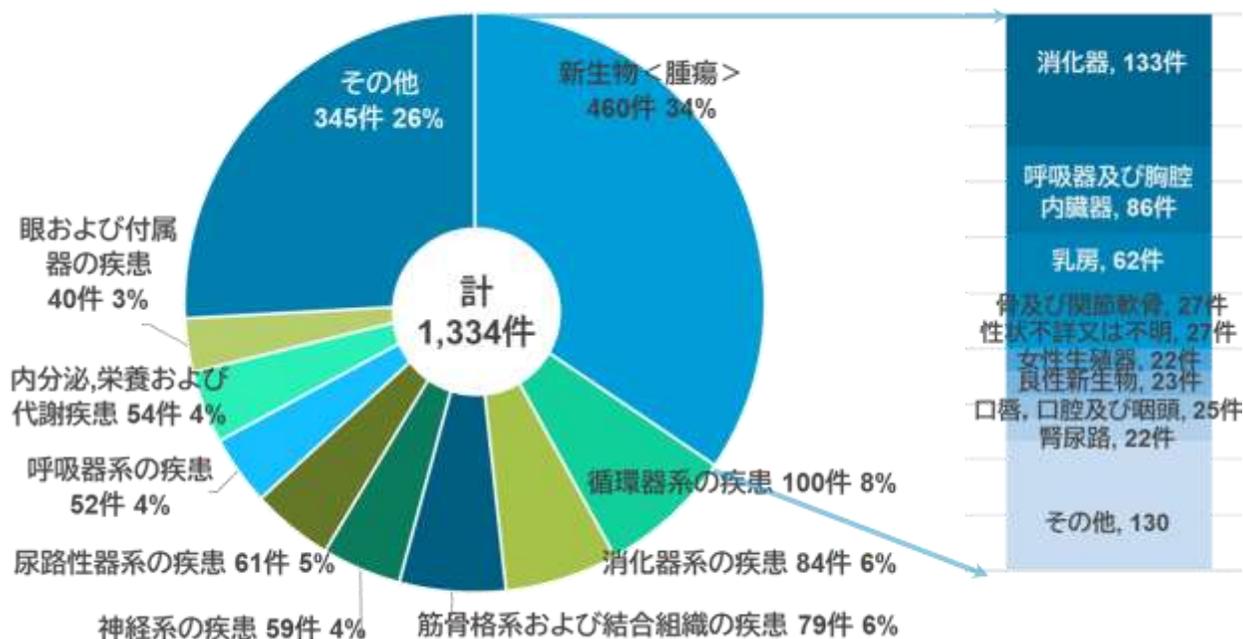
・目的別の実績において、全ての目的別の回答がない病院もあり、渡航受診者数よりも少ない。

疾患別渡航受診者受入実績 2024年度2023年度比較

- ・2017年度から1位を継続している。その新生物の部位別についても、消化器や呼吸器、乳房など上位はあまり変化がない。
- ・それ以外の疾患についても上位に並ぶ疾患については大きな変化はない。

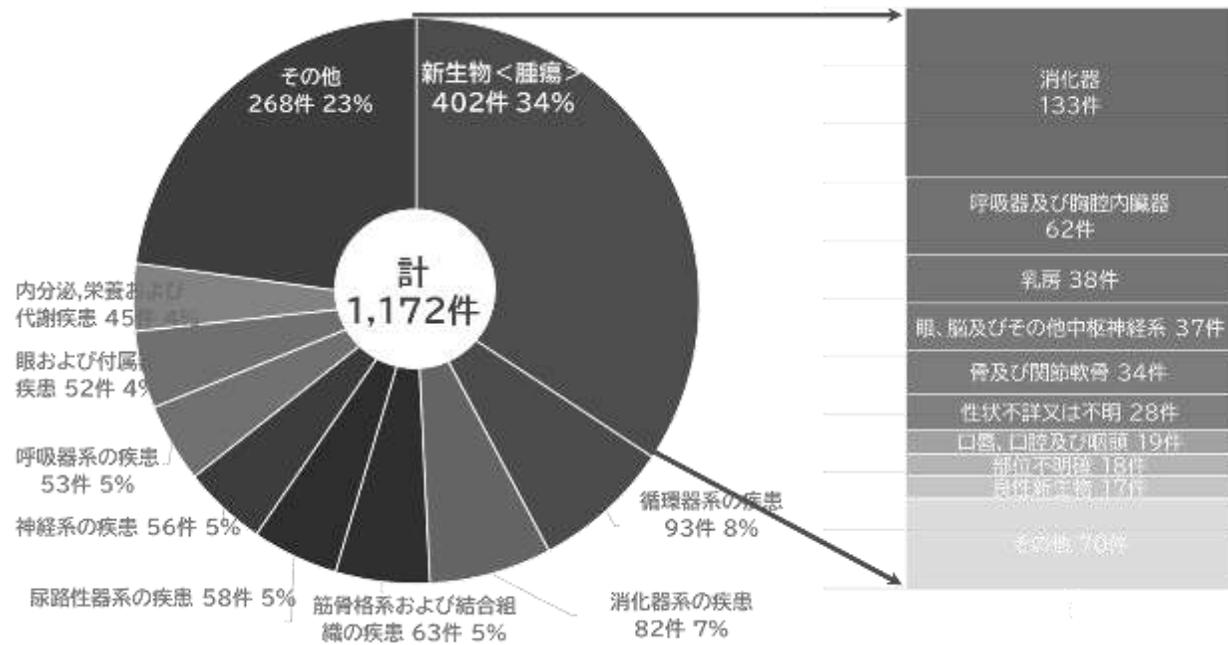
2024年度

2024年4月～2025年3月:39病院回答



2023年度

2023年4月～2024年3月:39病院回答



・全ての疾患ICD分類別の回答がない病院もあり、渡航受診者数よりも少ない。